

## 2010年5月期(第12期) 第3四半期決算補足資料

2010年4月12日(月)

本資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で為した判断に基づくものです。しかしながら、現実には、通常予測しえないような特別事情の発生または、通常予測しえないような結果の発生等により、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社と致しましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めて参りますが、本資料記載の業績見通しのみで全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願い致します。

尚、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製複製、または転送等を行わないようお願い致します。

# 【1】第3四半期決算概要

- 売上総利益：売上高の減少 ▲1,097 / 仕入の減少+701 / 製造原価の減少 +96
- 特別利益：移転補償金 +82
- 特別損失：減損損失 ▲37

	実績		前年同期比	
	10/5期-3Q (連結累計)	09/5期-3Q (連結累計)	増減額	増減率
売上高	2,034	3,132	▲ 1,097	▲ 35.0%
売上総利益	414	714	▲ 299	▲ 42.0%
売上総利益率(%)	20.4%	22.8%	—	—
販管費	554	591	▲ 36	▲ 6.2%
販管费率(%)	27.3%	18.9%	—	—
EBITDA	▲ 84	283	—	—
営業利益又は営業損失	▲ 140	122	—	—
営業利益率(%)	—	3.9%	—	—
経常利益又は経常損失	▲ 140	124	—	—
経常利益率(%)	—	4.0%	—	—
第2四半期期純利益 又は第2四半期純損失	▲ 163	72	—	—
純利益率(%)	—	2.3%	—	—
EPS(円)	▲ 2,251.07	1,009.78	—	—

(金額単位:百万円)

- 流動資産：現預金の減少 ▲97
- 固定資産：のれんの減少 ▲627
- 固定負債：退職給付引当金の減少 ▲12

	実績		前年同期比	
	10/5期-3Q (連結)	09/5期-3Q (連結)	増減額	増減率
流動資産	1,332	1,512	▲ 180	▲ 11.9%
現預金	923	1,021	▲ 97	▲ 9.6%
固定資産	303	887	▲ 583	▲ 65.8%
有形固定資産	36	16	+ 19	119.2%
無形固定資産	129	821	▲ 691	▲ 84.2%
投資その他の資産	137	49	+ 87	177.7%
総資産	1,636	2,400	▲ 764	▲ 31.8%
流動負債	401	408	▲ 7	▲ 1.7%
固定負債	23	44	▲ 21	▲ 47.7%
負債合計	425	453	▲ 28	▲ 6.2%
純資産	1,211	1,947	▲ 735	▲ 37.8%

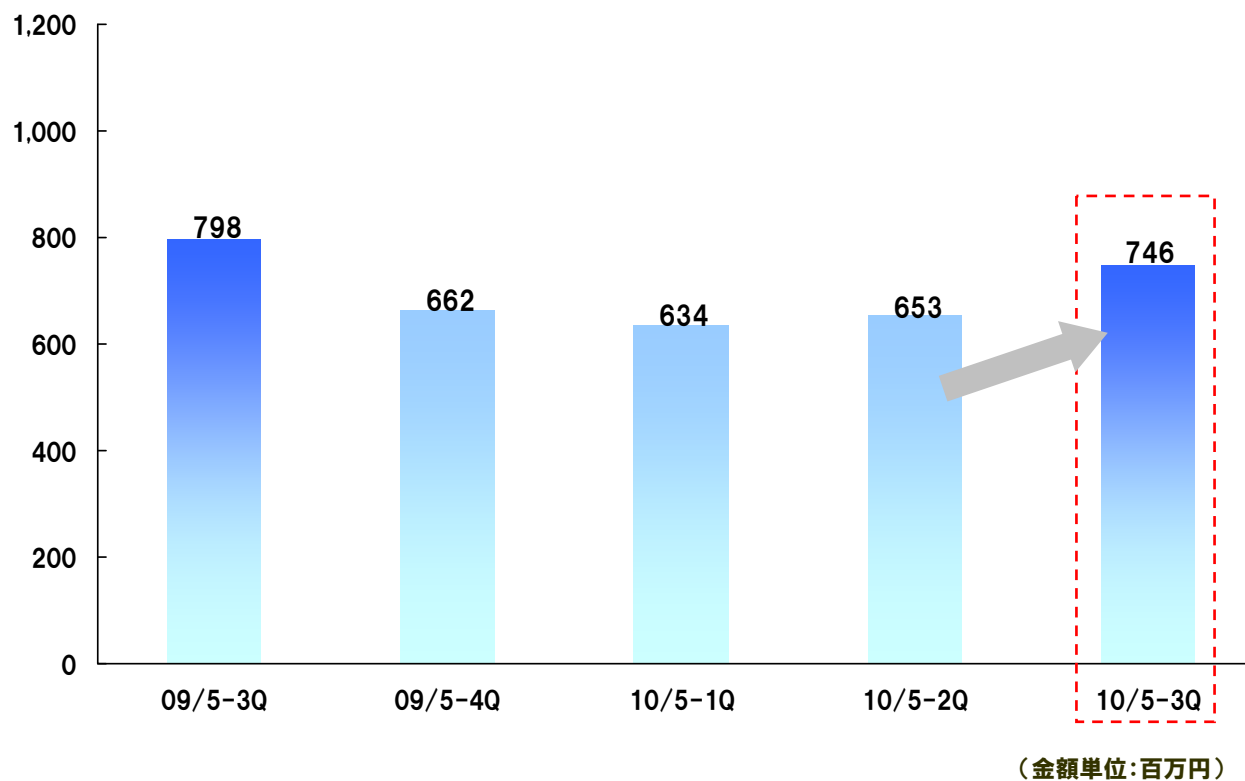
(金額単位:百万円)

- 営業CFの減少 ▲230
- 現金及び現金同等物の期末残高 ▲95

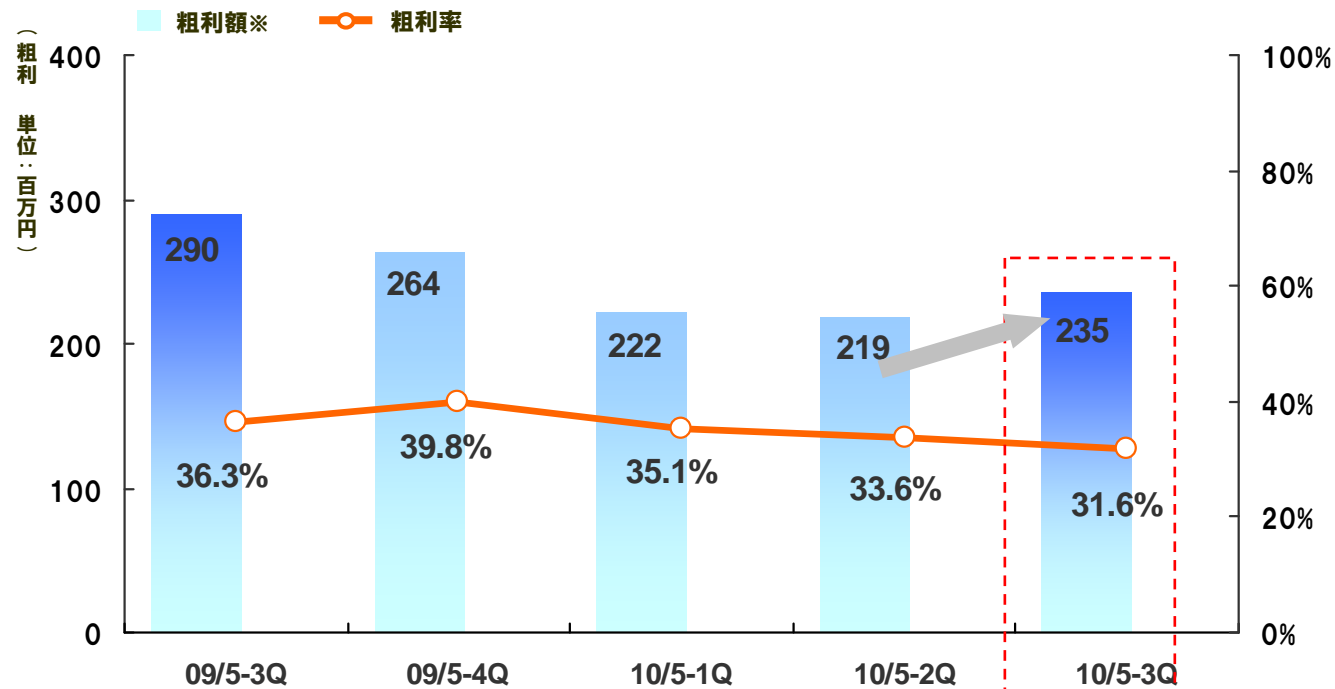
	実績		前年同期比
	10/5期-3Q (連結累計)	09/5期-3Q (連結累計)	増減額
営業活動によるCF	102	332	▲ 230
投資活動によるCF	▲ 70	▲ 74	+ 3
財務活動によるCF	▲ 73	▲ 70	▲ 2
現金及び現金同等物の増減額	▲ 40	186	▲ 227
現金及び現金同等物の期首残高	947	814	+ 132
現金及び現金同等物の期末残高	906	1,001	▲ 95

(金額単位:百万円)

- 前年同期比▲6.5%減(798百万円→746百万円)
- 2Qとの比較においてP4P売上高が増加のため売上高増(653百万円→746百万円)

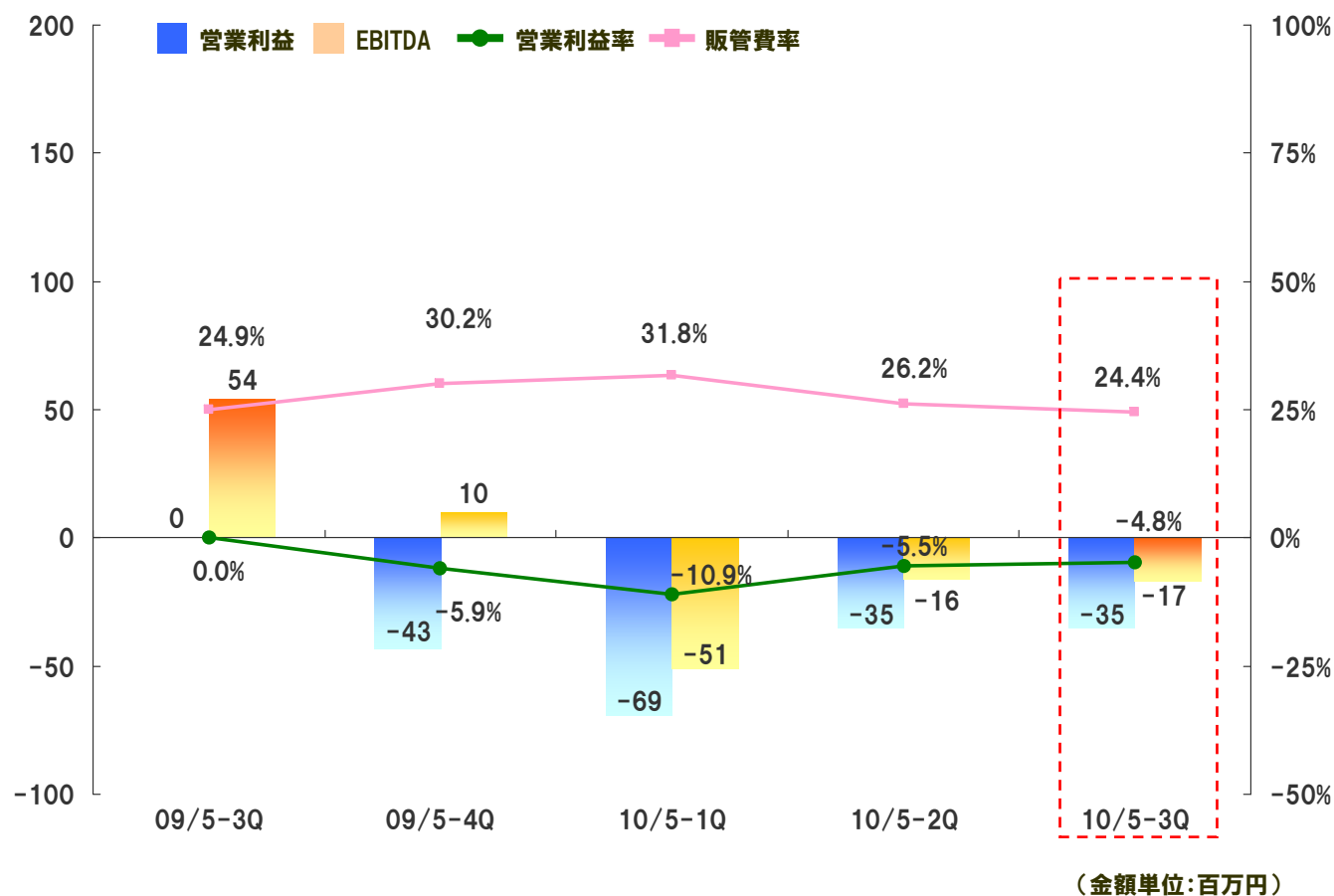


- 粗利高は、売上増により増加
- 原価率の高い商材の売上が増加したため粗利率※は減少(33.6%→31.6%)



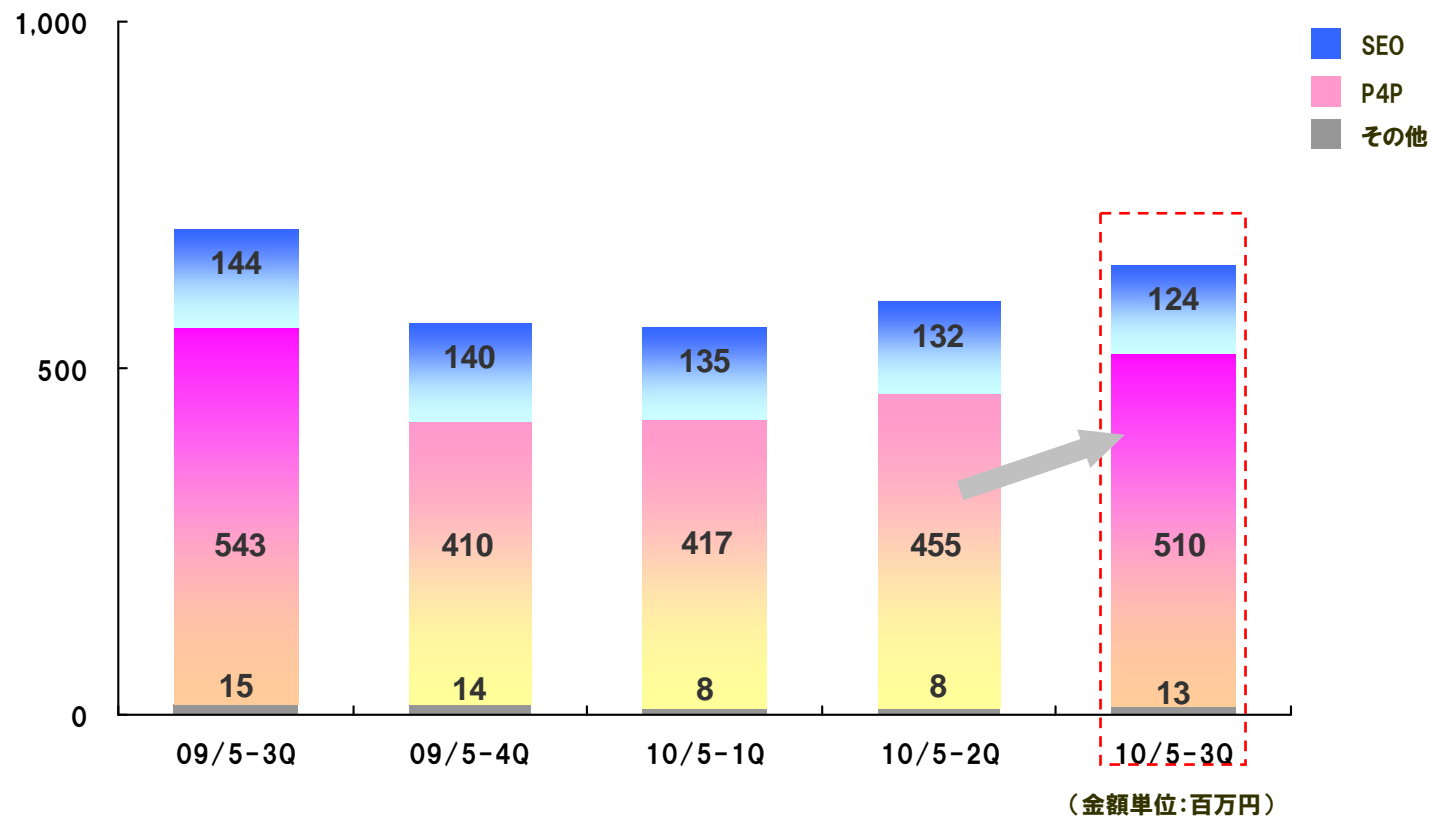
※このページでの粗利は限界利益を示します。  
(限界利益 = 売上高 - 変動費)

● 2Qとの比較においてローコストオペレーションが奏功し、  
販管費率が改善(26.2%→24.4%)

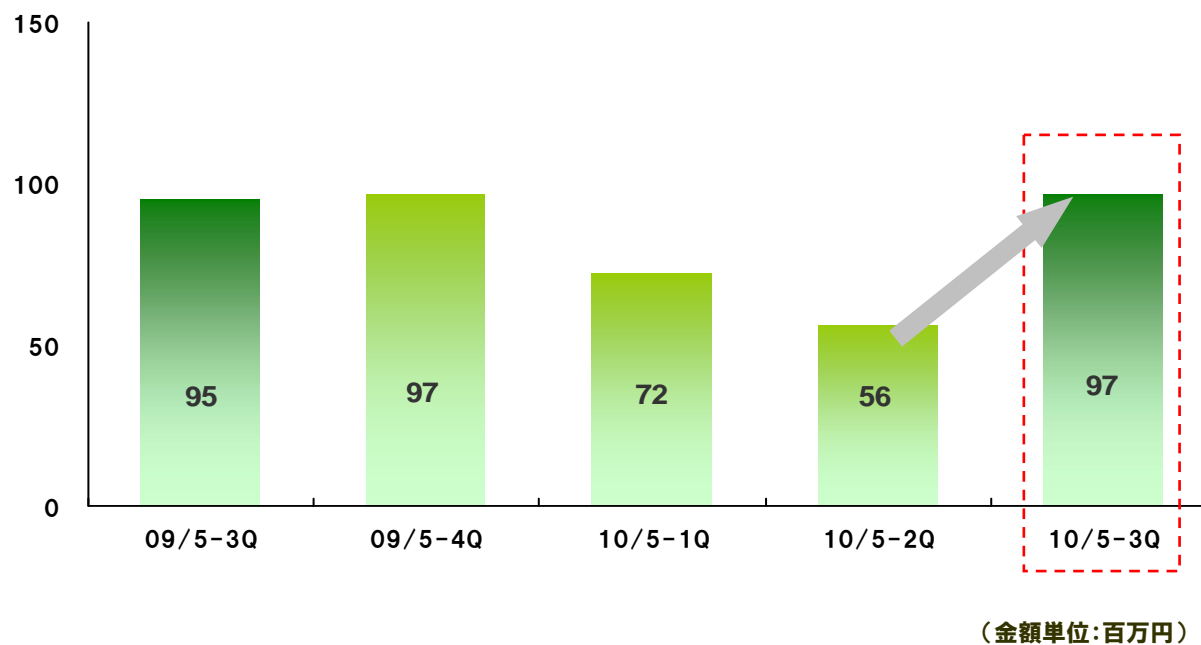




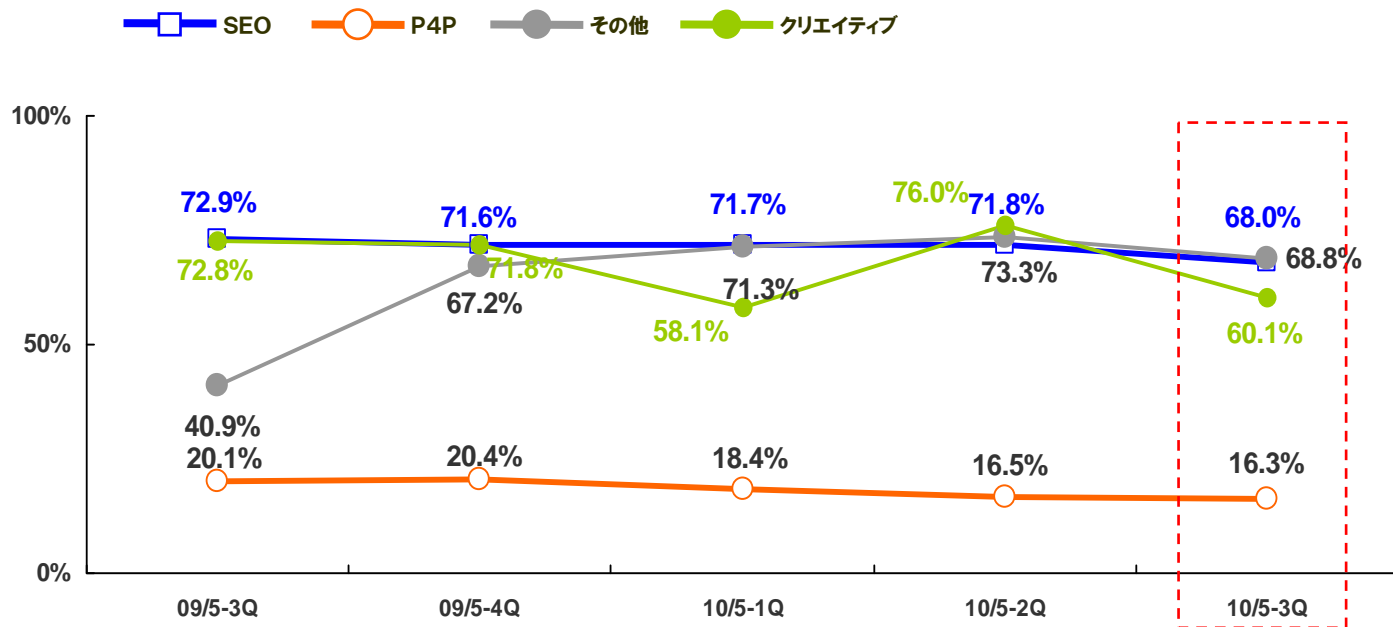
- 2Qとの比較においてP4P売上高が堅調に推移し、事業全体の売上高が回復(595百万円→647百万円)



- 2Qとの比較において、季節要因により売上が回復（56百万円→97百万円）

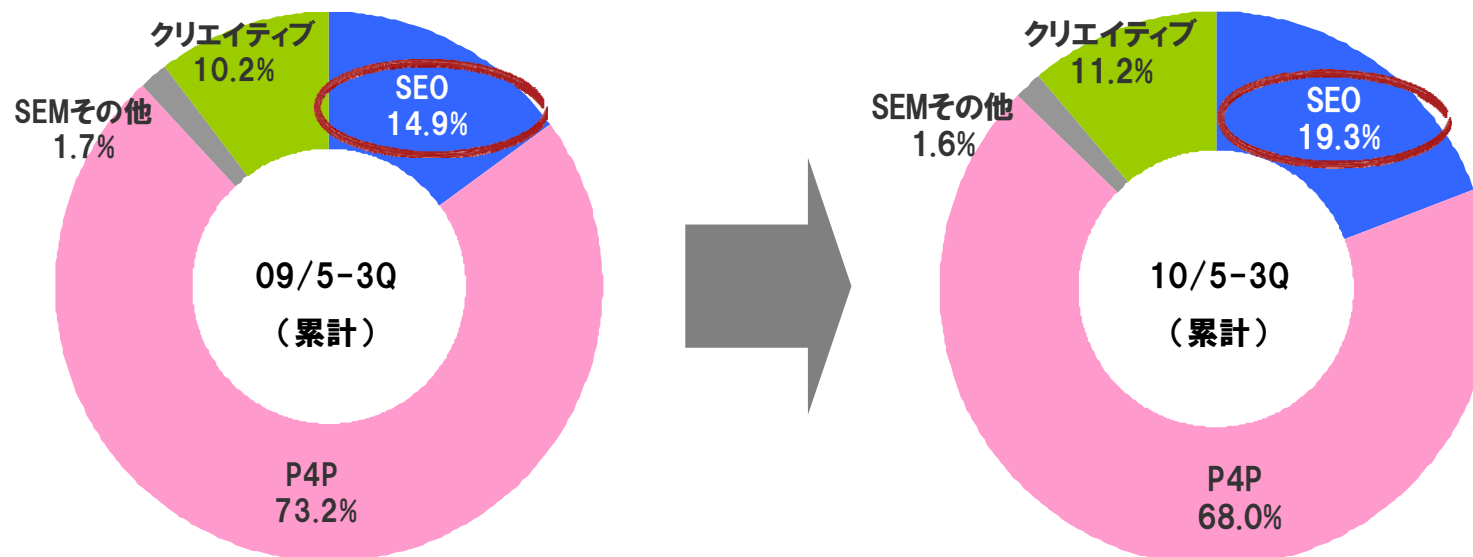


● クリエイティブ事業において粗利率が低下(76.0%→60.1%)  
2Qとの比較で受注案件増による外注費の増加

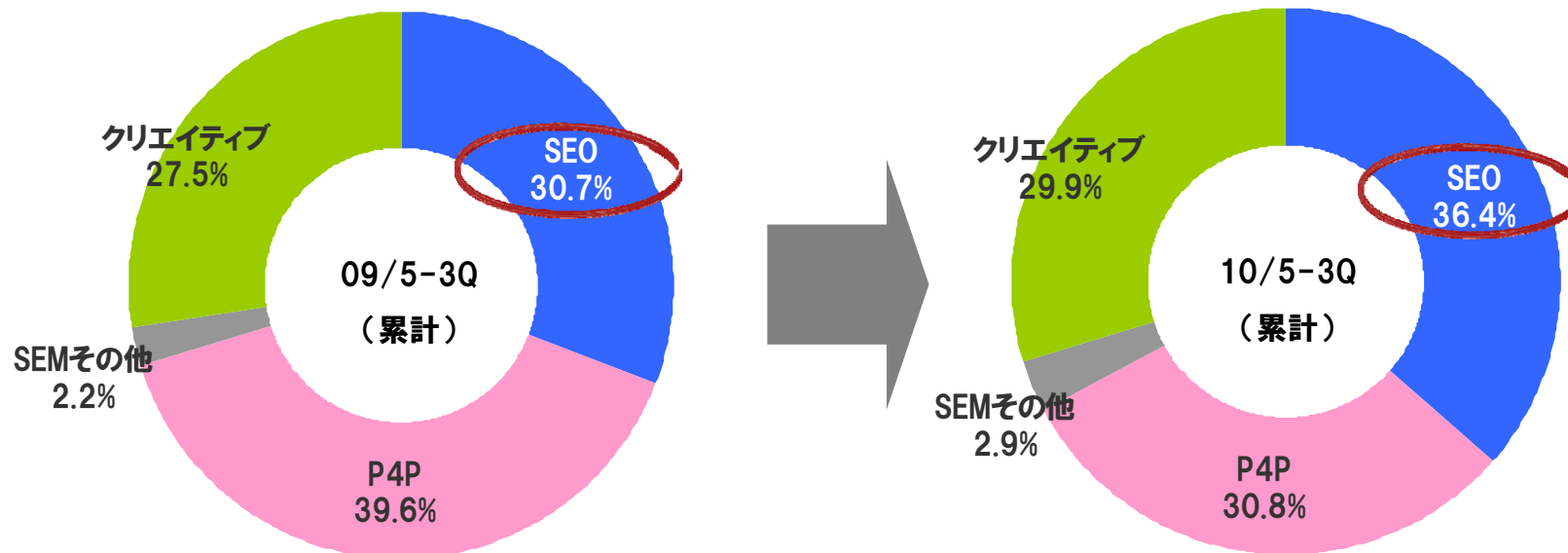


※このページでの粗利率は限界利益を示します。  
(限界利益 = 売上高 - 変動費)

● 利益率の高いSEOの売上構成比が向上(14.9%→19.3%)

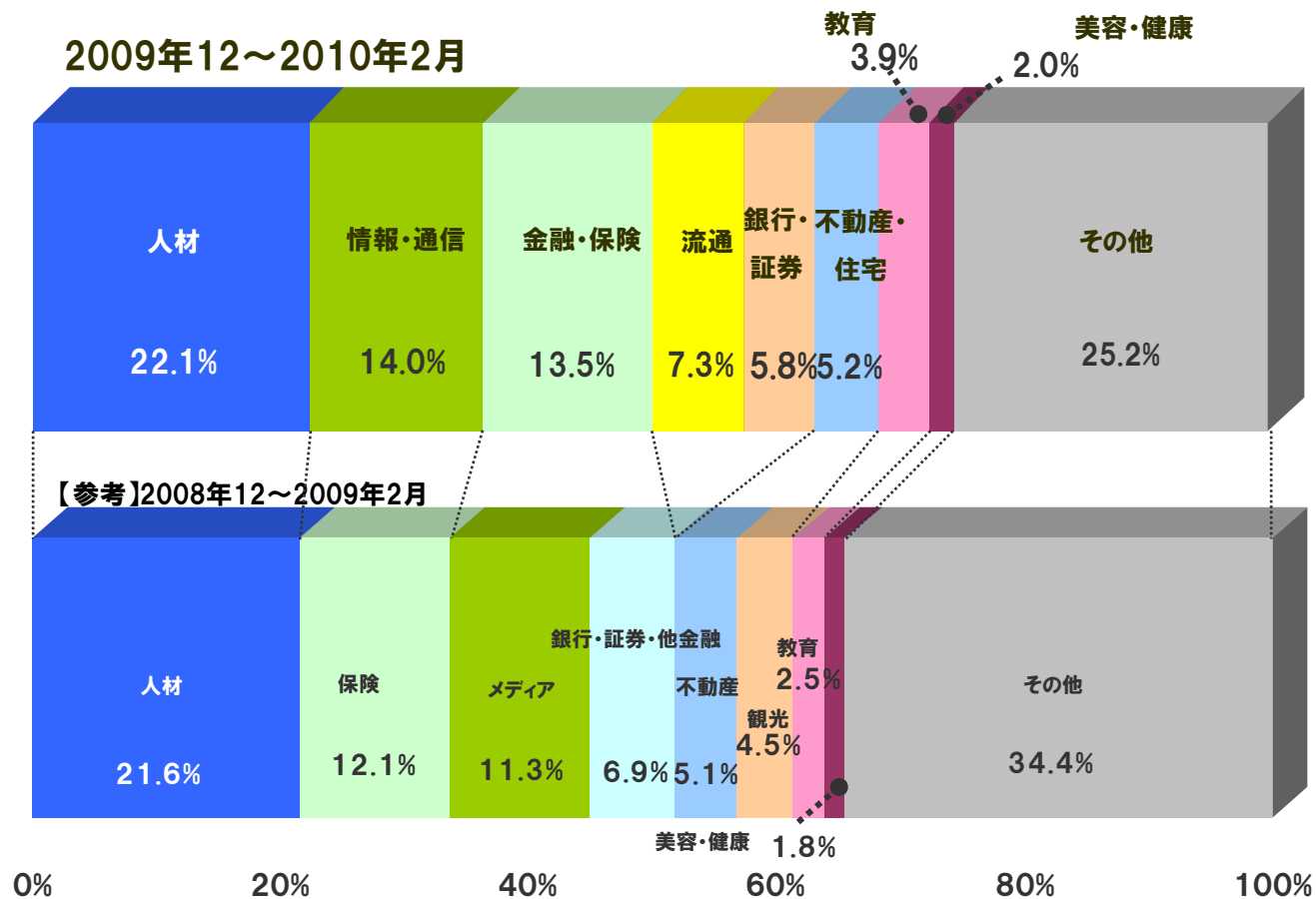


● 事業ポートフォリオの転換により粗利構成の偏りが軽減(30.7%→36.4%)



※粗利は管理会計ベースの数値(売上-仕入)を示します。

- 特定の業種への依存が軽減
- パーセンテージは、09年12～10年2月における全サービスの売上高をベースにて算出



※第2四半期より顧客業種属性の分類を変更し、新たに流通を追加しております。

- 子会社株式の評価損111百万円および同社への貸付金に係る貸倒引当金繰入額41百万円の合計152百万円を特別損失に計上(個別決算)
- 上記に伴い、のれんの減損損失37百万円を特別損失(連結決算)

	売上高	営業利益又は営業損失	経常利益又は経常損失	当期純利益又は損失
2010年5月期 通期連結 業績予想	3,042 (▲19.8)	108 (37.4)	140 (68.9)	109 (-)



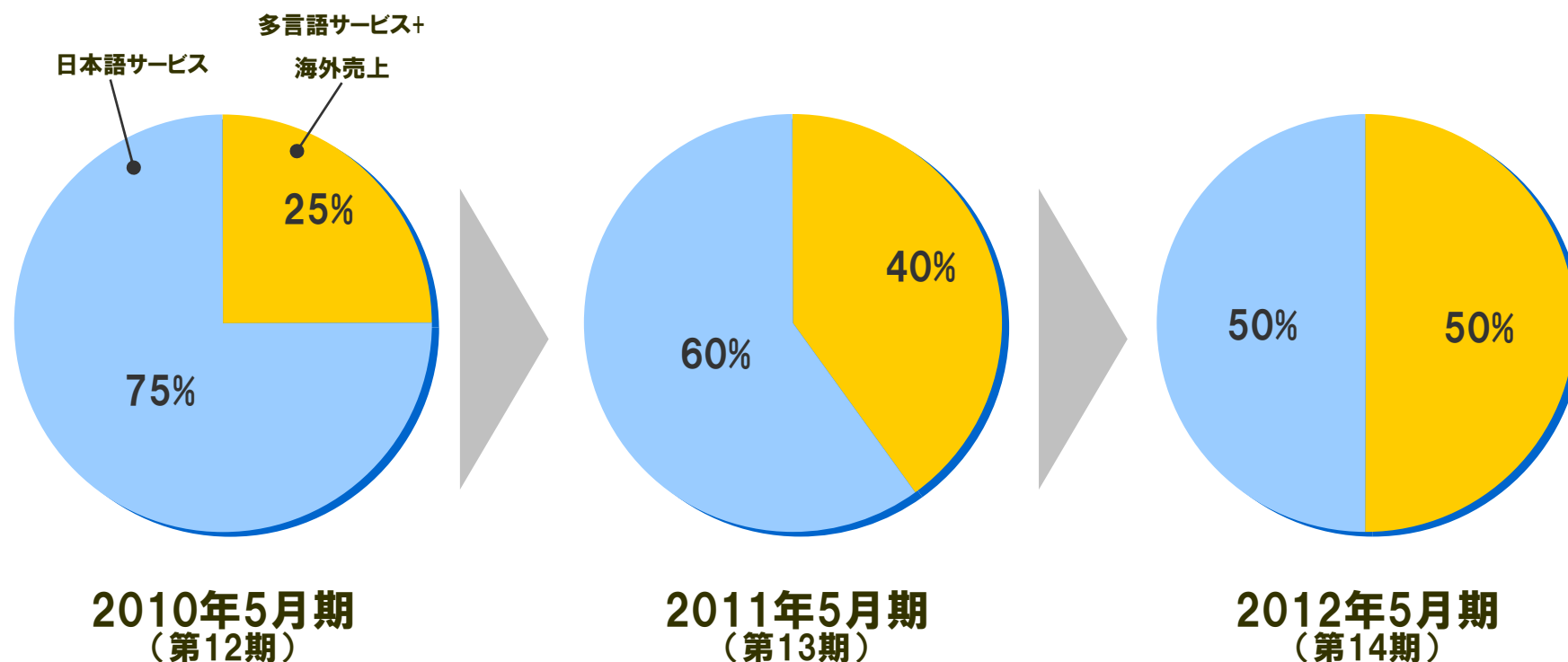
(単位:百万円/( )前年比率)

	売上高	営業利益又は営業損失	経常利益又は経常損失	当期純利益又は損失
2010年5月期 通期連結 業績予想	2,712 (▲28.5)	▲189 (-)	▲190 (-)	▲240 (-)

# 【2】事業の取り組み



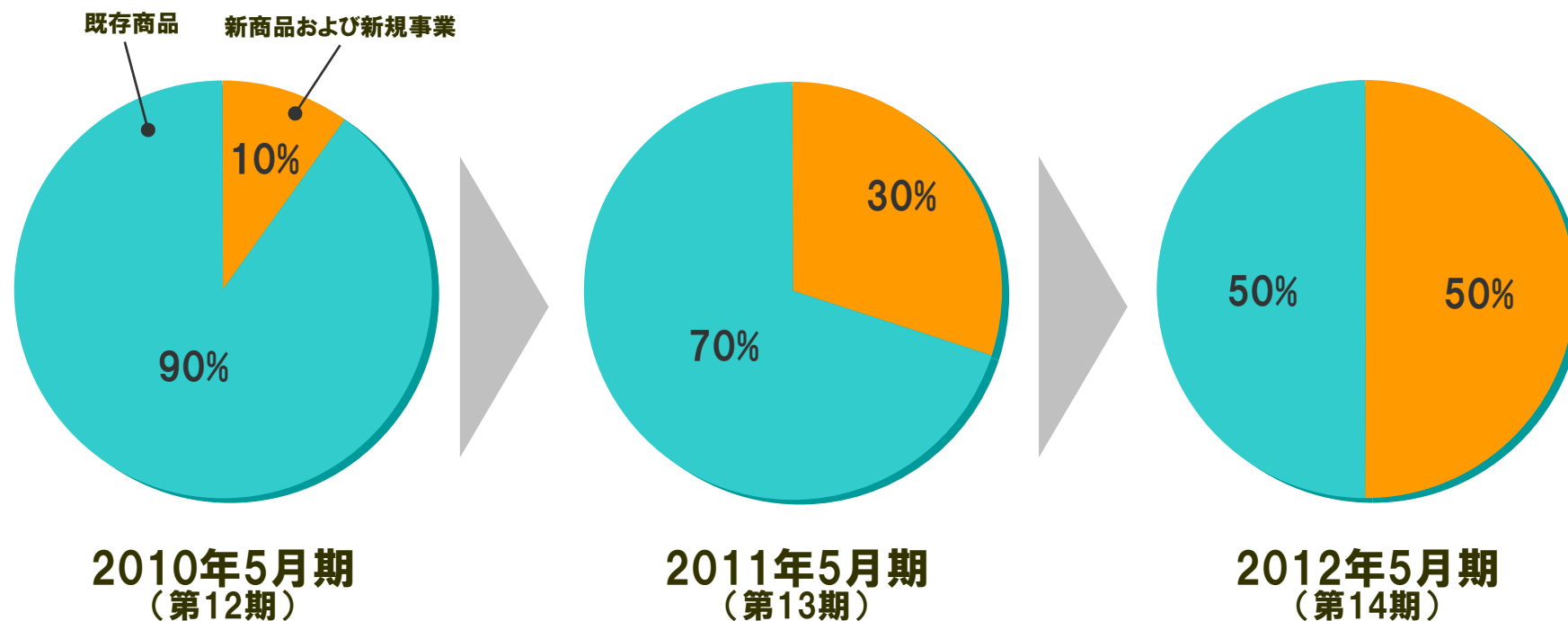
● 売上高の50%を英語・中国語などの多言語サービスで  
獲得できるように事業を展開



※多言語サービス  
メディア、エージェント、翻訳とクリエイティブ、BPOの一部にて  
提供するサービス

## 事業目標2/2 > 売上構成比の転換(新商品・新規事業構成比)

- 既存商品への依存体質を脱却
- 内部育成により新規事業および新商品の追加
- 新商品には継続基準を定め、業績への貢献度を判断



※新商品

SEMとクリエイティブから派生した商品で、メディア、BPO、エージェント、翻訳などのサービス

**1. 事業ポートフォリオ転換**

**2. トップライン向上**

**3. ローコストオペレーション推進**

**AUN**  
(アウンコンサルティング)

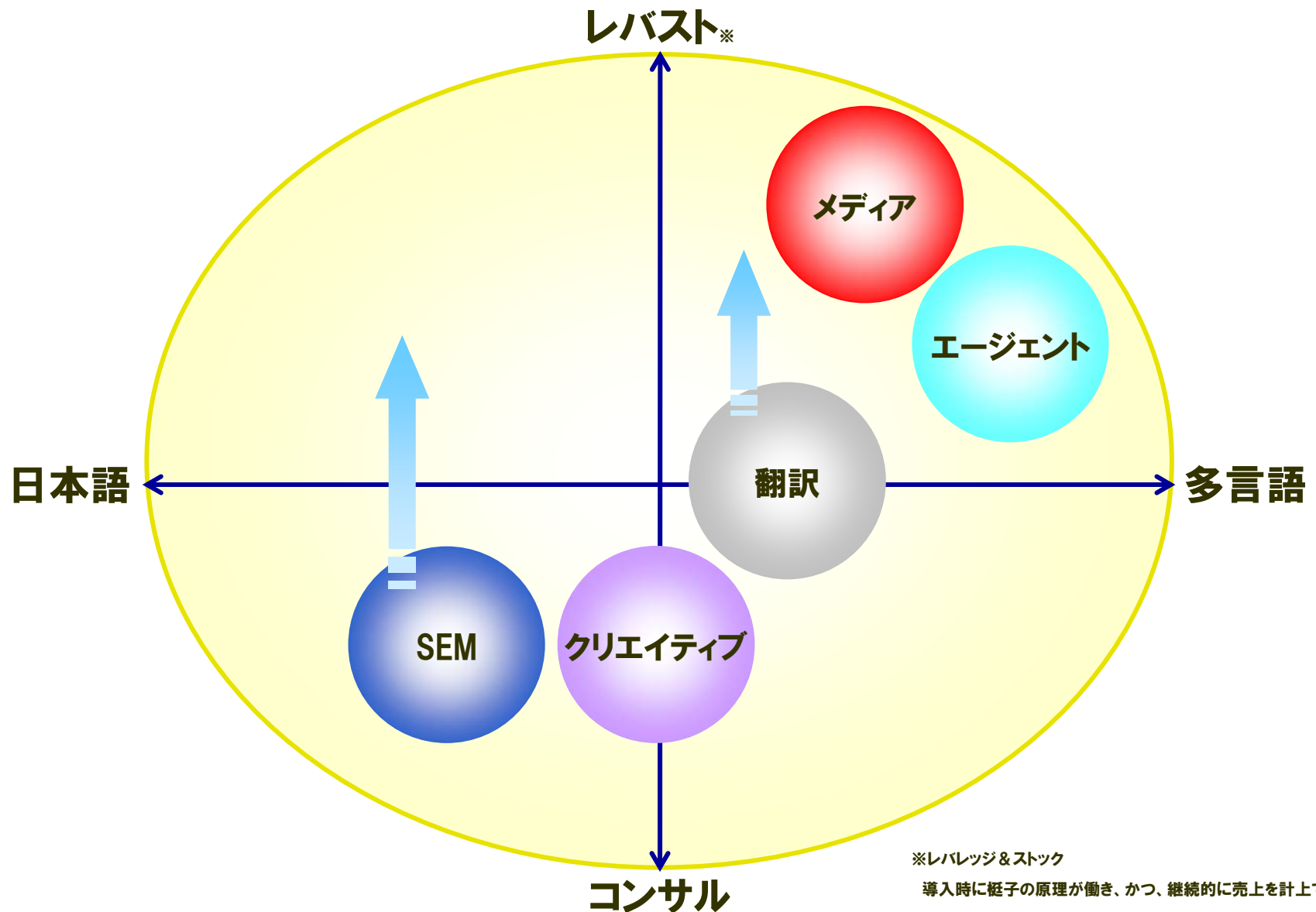
**SEM**  
**メディア**

**AGM**  
(アウングローバルマーケティング)

**クリエイティブ**  
**エージェント**  
**翻訳**

※BPO事業はサービスラインナップ整備に伴い  
SEM事業に組み込みました。

※Business Process Outsourcing  
(ビジネスプロセス・アウトソーシング)



# 従来のSEM(検索エンジンマーケティング)に加え、 費用対効果の高い 新しいマーケティングサービスを提供

## 取り組み

- クロスセルの強化
- 新商品開発の強化
- スマートフォン向けサービスの拡充

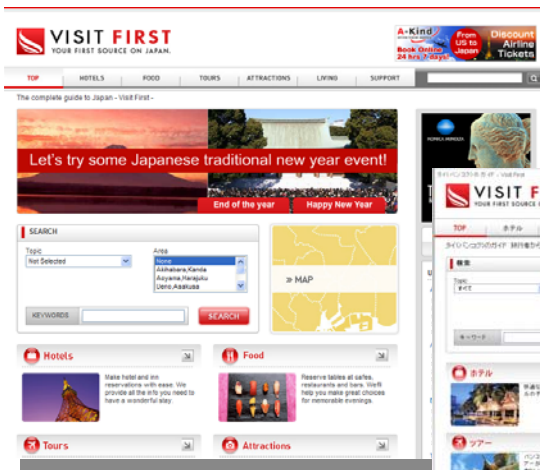


※Yahoo! JAPANの検索結果ページの場合

# 外国人向け情報ポータルサイト Visit First(日本版、英語・日本語)を展開 8,000件以上の情報を掲載

## 取り組み

- タイ版(日本語)のコンテンツ拡充のためのパートナー契約を促進
  - ・ ツアー:株式会社アラン
  - ・ ホテル:JHC株式会社
  - ・ ニュース:バンコク週報
- Visit First(日本版、簡体字・日本語)オープン



Visit First(タイ版:タイ情報、日本語)  
<http://www.visit-first.jp/thai/>

Visit First(日本版:日本情報、英語・日本語)  
<http://www.visit-first.com/japan/>



# 多言語におけるWebサイト、グラフィックデザイン (紙媒体)を制作 クオリティの高いマルチ制作を提供



■ キヤノン/カメラ性能紹介



■ ソニー/バイオ

## ■ 採用企業様

味の素/EPSON/  
大塚商会/ オリンパス/  
外務省/ 科学技術振興機構/  
カネボウ/コクヨ/  
JR東日本/ ジャストシステム/  
SONY / 東芝/  
ドコモ/ パイオニア/ POLA/  
ホンダ(50音順)

## 取り組み

- eコマース、CMSなどシステム連携系のWeb制作
- Webプロモーションの提案から制作、実施までワンストップサービス



# 中国を始め、アセアン地域における プロモーションを中心とした マーケティングのコンサルティング支援

## 取り組み

- 「中国富裕層マーケティング調査サービス」開始
- AsiaPac Net Media Ltd.と連携を図り、新たな市場の開拓
- 「事例で読み解く!中国ビジネス実践セミナー」開催



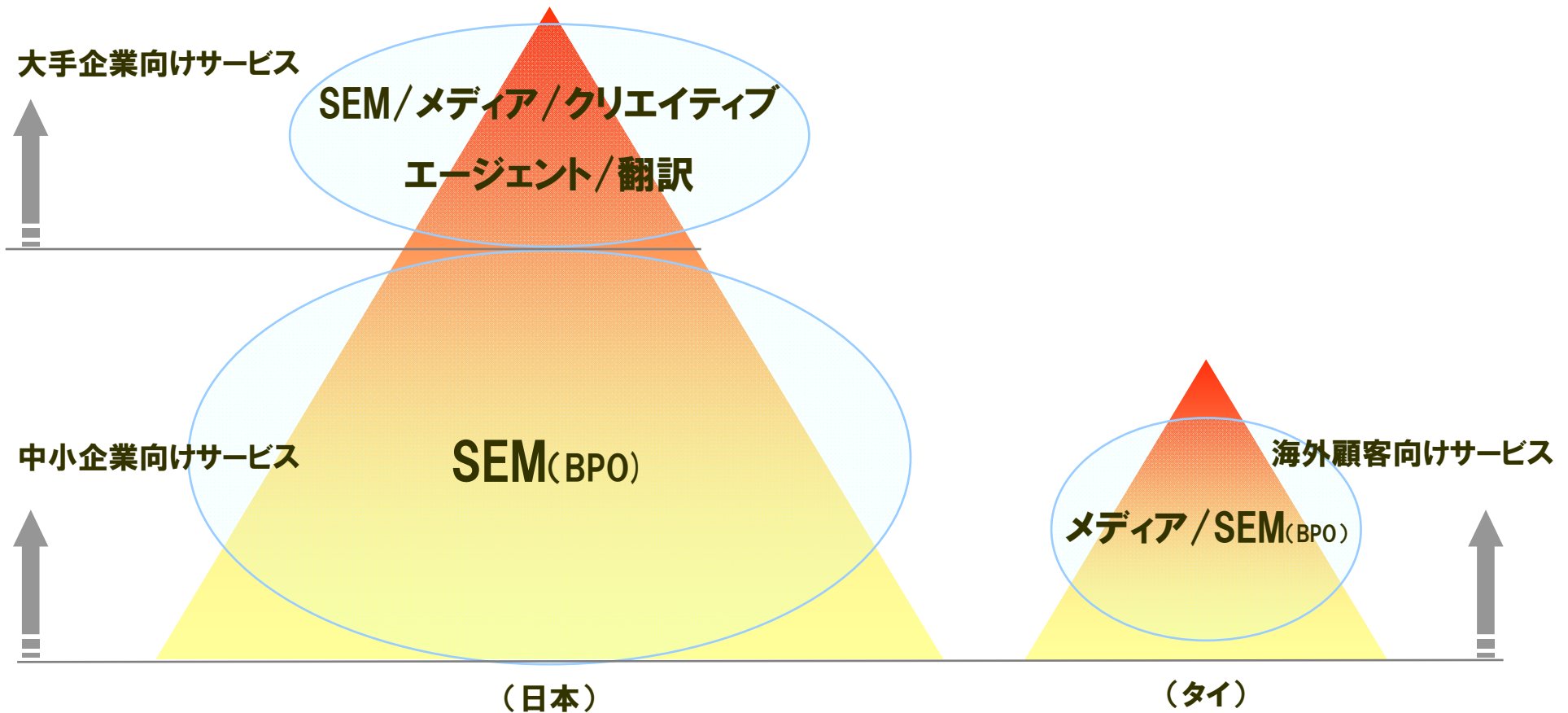
# 世界64ヶ国語に対応し、各分野の 専門文書に対応 高品質な翻訳を低コストかつスピーディに提供

## 取り組み

- 取引企業実績2,500件
- キャンペーン実施による販促強化



- 継続的な新規顧客層の拡充
- ATL(タイ)を生産拠点から一部営業拠点化



- **定期的なクライアントとのコミュニケーション強化**  
当社グループの各事業責任者より最近の状況報告を交えた社外報作成
- **アウンアカデミーの開催**  
多岐にわたる販促・マーケティングに関するノウハウを提供
- **iPhoneを活用したリアルタイムな営業活動**  
顧客管理システムを利用したクロスセル販売強化
- **社内評価(インセンティブ)の強化**  
営業活動の促進を目的としたインセンティブ体制を変更・拡大



アウンコンサルティングは販促・マーケティングを興業のアカデミーを創設しております。SEM(検索)・SNS(ソーシャル)・ディスプレイ広告・リスティング広告・メールマーケティング・モバイルマーケティング・多言語マーケティング、見込み顧客開拓の活用など、多岐にわたる分野に精通しております。  
大手企業様をはじめ、多くの業種のマーケティングにお力添えしている専門知識や当社のSEM責任者レベルが活躍、技術は国内トップレベル、すべてに精通できる人材を育成いたします！

※全てが人財での提供となりますので、応募時点で応募の分野に特化していただく場合がございます。



- 東京を営業・本社機能に限定しそれ以外の機能は全て移管
- オペレーション業務の移管を促進(AOL、ATLの増員)

グループ会社の業務機能

	SEM	メディア	クリエイティブ	エージェント	翻訳	管理
AOL (沖縄)	提案書作成・ コンサルサポート	コンテンツ翻訳	制作 ディレクション	提案資料作成 (日本語)	コーディネーター チェッカー	秘書・管理 サポート
ATL (タイ)	レポート作成・ データ集計・ 入札	コンテンツ収集	Web制作・ システム開発	キーワード作成 レポート作成	英語・中国語・ タイ語翻訳	秘書・総務 サポート

拠点人数

	AUN アウン コンサルティング	AGM アウングローバル マーケティング	AOL アウン沖縄 ラボラトリーズ	ATL アウンタイ ラボラトリーズ	合計
人数	87	34	25	23	169

(2010年2月末現在)

※役員(AUN、AGM)、臨時社員は含んでおりません。

出向者は出向先にて集計しております。

# 卷末資料

## ● 当社事業の取り組みに関して、有力媒体からの取材・掲載数増加

2/22 毎日コミュニケーションズ「WebDesigning3月号」

当社発表国内SEO市場規模予測に関する記事掲載

2/21 日本経済新聞社「日経産業新聞」7面

当社発表国内SEO市場規模予測に関する記事掲載

1/15 東京観光財団「会報誌TCVB NEWS」1月号

ビジットファーストサロンについて紹介

1/ 5 観光経済新聞社「観光経済新聞」1月5日号

中国富裕層マーケティング調査に関する記事掲載

12/24 産労総合研究所「人事実務」12月15日号

当社イベント・ファミリーパーティに関する記事掲載

12/15 株式会社宣伝会議「宣伝会議」12月15日号

iPhoneアプリ収益化支援についての記事掲載

12/ 8 ビジネスパブリッシング社「月刊人事マネジメント」

当社のグローバル採用についての記事掲載

12/ 5 観光経済新聞社「観光経済新聞」12月5日号

多言語Webサイト保有状況調査に関する記事掲載

12/ 2 日本経済新聞社「日経産業新聞」4面

iPhoneアプリ収益化支援についての記事掲載

12/ 2 日経BP社「日経ビジネスアソシエ」12月15日号

当社オリジナルの備品収納棚について紹介

(2009年12月～2010年2月実績)



(証券コード:2459)

設立	1998(平成10)年6月8日
資本金	339,576千円(2010年2月末現在)
役員	代表取締役 兼 代表執行役員 信太 明 取締役 兼 常務執行役員 橘川 徹也 取締役 兼 常務執行役員 棚橋 繁行 取締役 兼 常務執行役員 坂田 崇典 社外取締役 藤原 徹一 常勤監査役 工藤 典久 監査役 中谷 正史 監査役 加藤 征一 監査役 松村 卓朗
本社	東京都文京区後楽1-1-7 グラスシティ後楽
グループ会社	アウングローバルマーケティング株式会社 アウン沖縄ラボラトリーズ株式会社 AUN Thai Laboratories Co.,Ltd.
社員数	159名[正社員のみ139名(グループ会社含む・役員含まず)](2010年2月末現在)



1998	6	アウンコンサルティング株式会社を千葉県松戸市に設立(資本金10,000千円)
	9	本社を福島県福島市へ移転
	10	検索エンジン関連業務(登録業務)開始
1999	10	SEO(検索エンジン最適化)コンサルティングサービス開始
2001	1	東京営業所を、東京都文京区に開設
2002	4	本社を東京都文京区へ移転
	10	SEO専門ポータルサイト「検索エンジン最適化情報チャンネル(SEO-ch)」開設
	11	検索エンジンにおける検索結果の上位表示コンサルティングサービス「SEOオーソリティ」開始
	11	P4P(検索連動型広告・コンテンツ連動型広告)販売開始
2003	3	P4P運用コンサルティングサービス「P4Pマネージャー」開始
	4	SEM専門ポータルサイト「検索エンジンマーケティング情報チャンネル(SEM-ch)」開設
2004	10	本社を東京都千代田区に移転
2005	11	東京証券取引所マザーズ上場(証券コード:2459)
2006	12	沖縄ラボ開設
2007	4	トレンドウォッチャー向けの最新情報サイト「Trend-ch」開設
	5	海外マーケティング総合情報サイト「CBM-ch」開設
	10	日本テクノロジーFast50 受賞
	12	シリウステクノロジーズ社と「モバイルSEO事業」譲渡契約締結
2008	4	沖縄とタイ・バンコックに法人設立
	6	株式会社アート・スタジオ・サンライフの株式譲渡契約締結
	12	株式会社ジーネットワークスより翻訳事業譲渡契約締結
2009	7	株式会社アート・スタジオ・サンライフをアウングローバルマーケティング株式会社へ社名変更
	9	本社を東京都文京区に移転
		訪日・在日外国人向け情報サイト「Visit First」正式オープン
	11	AsiaPac Net Media Ltd.(香港)との業務提携契約締結